



Kyodo Packing materials
共同包材株式会社

環境省策定

エコアクション21

環境経営レポート

Environmental Activity Report

2024



共同包材はSDGsの取り組みにチャレンジしています

2024年度計画 結果報告

(2023年10月 1日～2024年 9月30日)

座間市の花【ひまわり】

中央にいるのは、
座間市のゆるキャラ『ざまりん』です

2024年11月20日 発行

共同包材株式会社
KYODO

目次

目次	1
①組織の概要	2
②対象範囲	2
③環境経営方針	3
④環境経営目標	4
⑤環境経営計画	5～7
⑥環境経営目標の実績	8
⑦環境経営計画の取組結果とその評価	8～12
⑧次年度の短期目標	13
⑨次年度の取り組み内容	14
⑩環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	15
⑪代表者による全体評価と見直しの結果	16～18

組織の概要

事業所名	きょうどうほうざい 共同包材株式会社
所在地	〒252-0002 神奈川県座間市小松原二丁目17-8 連絡先 電話046(253)0601
代表取締役	山田 耕平
環境管理責任者	村上 正晃 連絡先 電話046(253)0601 E-mail murakami@kyodo-pscking.com
事業の概要	創業 昭和46年 1月 1日 設立 昭和53年11月 8日 事業内容 包装資材の販売 包装および梱包機械の販売 各種省力機器の販売
事業規模	資本金 4,000万円 社員数 7名 延べ床面積 1113.17㎡ (本社事務棟・製造部棟・第一倉庫・第二倉庫・第三倉庫・廃棄物保管コンテナー)



対象範囲

対象範囲（認証・登録範囲）

事業所名	所在地	業務内容	認証登録対象該否
本社	神奈川県座間市小松原2-17-8	包装資材の販売及び加工、包装及び梱包機械の販売、各種省力機器の販売	対象
製造部	神奈川県座間市小松原2-17-14	緩衝材等の断裁加工	対象



環境経営方針

環境経営方針

【基本理念】

共同包材株式会社は、地球環境の保全が人類共通の重要課題の1つであることを認識し、『人と地球をやさしく包む』をスローガンに、事業活動のあらゆる面で地球環境の保全に配慮して行動します。また、SDGsの取り組みにも積極的にチャレンジしていきます。

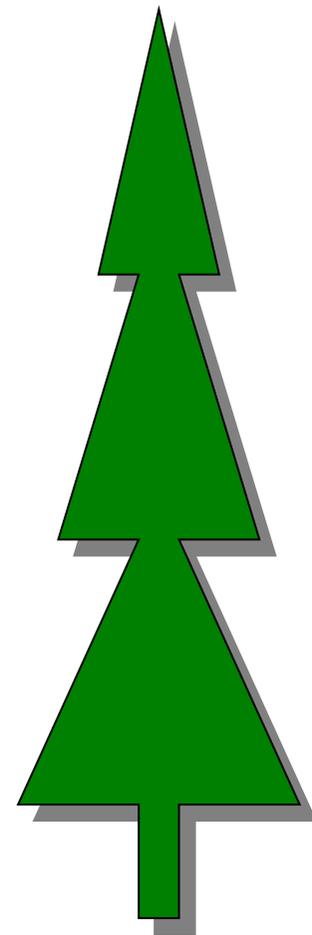


【行動指針】

当社は、包装資材の販売、包装及び梱包機械の販売、各種省力機器の販売を扱う包装資材総合商社とし、年々高まる顧客、社会からの環境配慮型製品への需要、要望などに対し提案を積極的に行うことにより資源の有効活用を推進し、事業活動・製品・サービスにおいて環境に配慮する商社をめざします。また、全従業員が社会及び社内における環境問題を自覚し、環境活動を積極的に行うことを社会的責任と考え行動します。

【具体的な行動】

1. 環境経営システムを設立し、環境経営目標及び環境経営計画を可能な範囲で設定しその達成に向け努力します。また、環境経営システムを定期的に見直し継続的に改善を図ります。
2. 環境関連法規規制、その他要求事項を遵守し、環境保全及び汚染の防止に努めます。(SDGs項目11)
3. 環境活動の重点項目として、以下の内容の環境経営目標及び環境経営計画を設定します。
 - ① 二酸化炭素排出量を把握し、削減・省エネルギーに取り組めます。(SDGs項目7, 13)
 - ② 廃棄物排出量を把握し、削減・リサイクルに取り組めます。(SDGs項目12, 14, 15)
 - ③ 総排水量を把握し、節水に取り組めます。(SDGs項目6, 7, 13)
 - ④ 環境配慮型商品の提案、及び販売拡大に取り組めます。(SDGs項目12, 14, 15)
4. 全従業員がこの方針を認識し、行動できるよう教育の徹底を図ります。(SDGs項目4, 8)
5. この方針は社外からの要求、その他必要に応じて公開します。(SDGs項目11)



2022年09月01日改訂
共同包材株式会社
 代表取締役 山田耕平

環境経営目標

3年間長期目標(2023年10月～2026年9月)

- ①二酸化炭素排出量を基準値から5%削減
- ②廃棄物排出量を基準値から3%削減
- ③総排水量を基準値以下を維持
- ④環境配慮型商品販売額を基準値から3%増加

2024年度短期目標(2023年10月～2024年9月)

- ①二酸化炭素排出量を基準値から3%削減
- ②廃棄物排出量を基準値から1%削減
- ③総排水量を基準値以下を維持
- ④環境配慮型商品販売額を基準値から1%増加

※「環境配慮型商品」とは・・・

弊社ではメーカーが「環境にやさしい商品」として製造した商品を、当社が独自に選定し、お客様へ推奨、提供する商品です。

例：再生素材を使用した布テープ、

燃やした時にダイオキシンを発生させないPPテープなど

選定商品の一部：再生PET布テープ、クラフトテープ、アスパック サラサラ、
ブランフォーム、プチプチ：エコハーモニー 等



環境経営計画

二酸化炭素排出量削減計画（電気部門）

2023年10月～2024年 9月までの1年間

実施項目	具体的な取り組み
二酸化炭素排出量を削減するため、 電気の使用量を 1%削減 する。 （基準値） 11,863 kwh （目標値） 11,744 kwh 1. 事務所のエアコンの管理を行う 2. 事務所・店の照明の管理を行う 3. 具体的な取組みの強化を行う	1. ①エアコンを使用するときは『エアコン使用管理票』に運転開始時間、停止時間を記録する ②効率よく扇風機を併用する ③喫煙時以外は換気扇を止める ④事務所のドア、店のガラス戸は必ず閉める（強化項目） ⑤定期的に温度チェックを行い、室温の調整を行う ⑥エアコンのフィルター清掃を定期的に行う ⑦適切な使用（節電）を促すために、貼り紙を提示する 2. ①事務所の照明は基本として（出社時～19:00）とする 上記以外に使用するときは、必要な個所だけを点灯する ②照明を使用するときは『事務所照明管理票』に点灯時間、消灯時間を記録する ③適切な使用（節電）を促すために、貼り紙を掲示する

二酸化炭素排出量削減計画（LPGの使用）

実施項目	具体的な取り組み
基準値の(57kg-co2(19kg))以下を 維持 する	①適切な使用を心掛ける



二酸化炭素排出量削減計画（社有車部門） ガソリン・軽油の使用

実施項目	具体的な取り組み
1. 二酸化炭素排出量を削減するため ガソリンの使用量を 4%削減 する （基準値） 6,269 ℓ （目標値） 6,019 ℓ 軽油の使用量を 4%削減 する （基準値） 1,636 ℓ （目標値） 1,571 ℓ 2. エコドライブを推奨し実行する	①各車両ごとに給油目標・燃費目標を定め、車内に掲示しエコドライブへの意識を高める ②ガソリン車は遠出するとき以外は基本的に(30ℓ以下)の給油を行う ③必要以外の積載物は降ろし、車体総重量を軽くし燃費向上に努める ④走行時以外はエンジンを止める (エンジンを掛けたまま荷物等の積み込み、積み下ろし、車内待機、休憩はしない) ⑤毎月1日朝、『車両管理票』に、前月の走行距離・燃料給油量・燃費・燃費評価を記入する ⑥車両使用者は毎月1日朝に『車両管理票』と伝票(レシート)を環境管理責任者へ提出する (給油伝票は車両ごとにまとめホチキスでとめ、氏名、車番、給油量合計を必ず記入する)強化項目 ⑦車両使用者は車両の異常を感じたときは、速やかに安全運転管理者に報告する ⑧タイヤの空気圧(少し多め)測定を2～3ヶ月に1回は行う(強化項目)



廃棄物量削減計画（廃棄物部門）

実施項目	具体的な取り組み
廃棄物排出量を基準値の 1%削減 する （基準値） 0.713 t （目標値） 0.706 t 1. 分別収集を行う 廃棄物は【分別収集一覧表】に従い分別し廃棄する 2. リサイクル出来るものはリサイクルする ダンボール類・PEをリサイクル業者に引き取ってもらい、 リサイクルすることで廃棄物を削減する 3. 再利用できるものは可能な限り利用する 社内で使用できるものは再利用し廃棄物を削減する	1. ①廃棄物は(13種類)に分け、専用の容器または専用置場を用意する ②各自、廃棄物を処理するときは、専用容器に分別して入れる ③専用容器が定量になったときは、廃棄物を廃棄物保管コンテナに移動し保管する ④毎月初に、前月分を計量する ⑤廃棄物保管コンテナに廃棄物が置けなくなった場合は廃棄物処理業者へ引き渡す ⑥廃棄物処理業者へ引き渡す場合、産業廃棄物管理票(マニフェスト)を発行する ⑦マニフェストは環境管理責任者が発行と保管を行う ⑧出入り業者への使用済み梱包材の持ち帰りをお願いする 2. ①当社指定リサイクル品を特定業者にリサイクル資源として提供する ②廃棄物保管コンテナにリサイクル品が置けなくなった場合は特定業者へ引き渡す 3. ①社内で使用できるものは再利用する



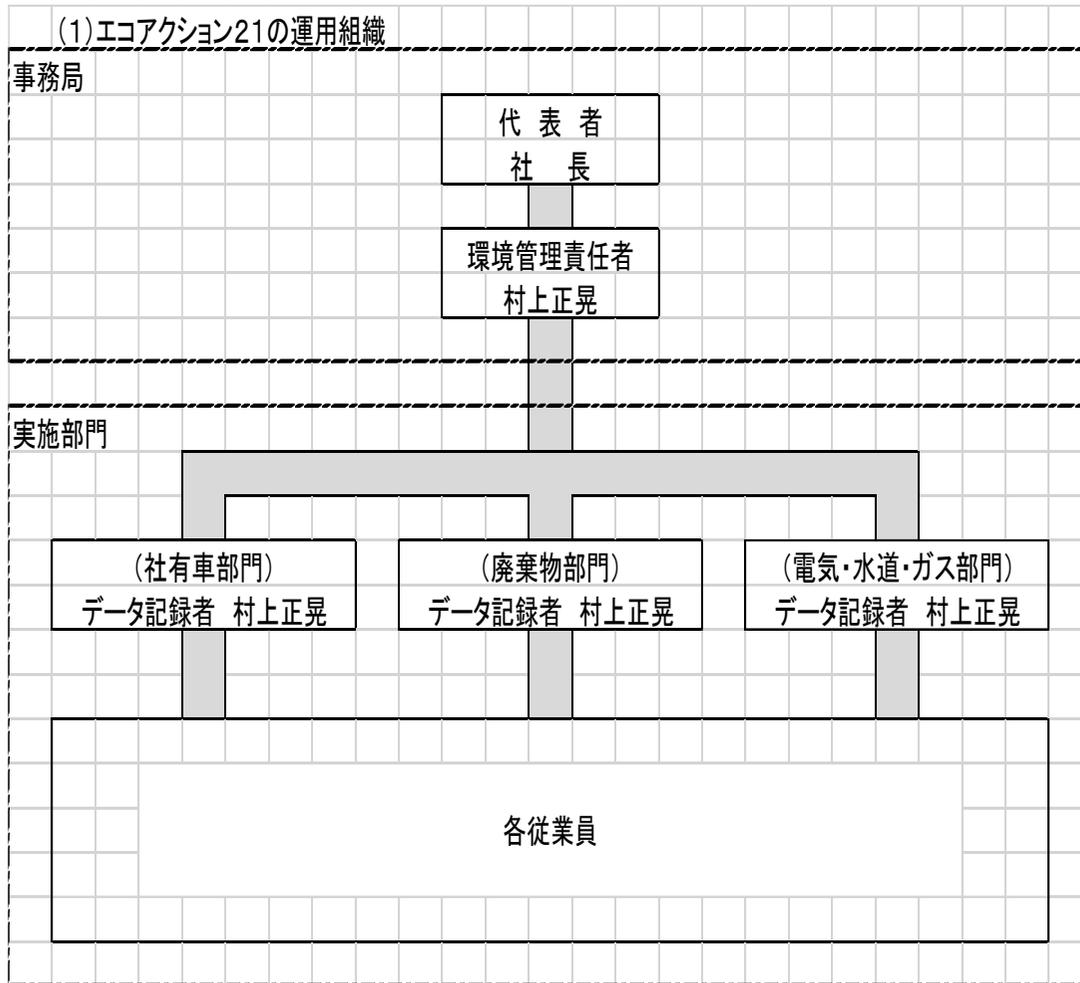
総排水削減計画（水道部門）

実施項目	具体的な取り組み
弊社は事務機能が中心ですので、 生活使用範囲と判断します。 基準値内での適切な使用を心掛け、 【節水意識】を持って、 自主管理を行い 現状維持 に努める。	①使用時の水量は鉛筆の太さ程度で使用する。但しバケツ等に水を入れる場合は除く ②石鹸で手を擦っている時や食器やタオル等を洗っている間は水を止める ③ホースで洗いながらの洗車を禁止しバケツに給水して洗車する (最後に流すときのみホース使用可) ④無駄な使用を避けるため「節水」の貼り紙を行う

環境配慮型商品の販売計画

実施項目	具体的な取り組み
環境配慮型商品の販売を基準値の 1%増額 する （基準値） 5,934 千円 （目標値） 5,993 千円 環境配慮型商品の販売量を増やす	環境配慮型商品を販売先へ積極的に提案し、販売拡大に努める

実施体制



(2) 責任と権限

①代表者

代表者は[エコアクション21]の最高責任者として次の事項を担当する。

1. 経営における課題とチャンスを整理し、明確にする。
2. 当社の環境管理全般を行い、その最終責任を負う。
3. 環境経営方針の制定・改訂を行う。
4. 環境経営システムの維持、改善業務を執行させるため環境管理責任者を任命し役割を明確にし必要な権限を与える。
5. 環境の維持、改善に関する重要事項について承認を行う。
6. 環境経営システムの維持改善に関する必要な資源(人的資源、技術、資金を含む)を調達またはその提案の承認を行う。
7. 代表者による見直しを年1回(定期は10月)以上行う。
8. 不適合箇所の改善と運営上の問題点を整理し、環境経営システム及び環境活動評価(達成結果)について課題がある場合は調査及び是正を環境管理責任者に指示する。

②環境管理責任者

1. [エコアクション21]の要求事項が当社において確立し、維持され、実施されているか確実にする責任と権限を持つ。
2. 環境経営システムの維持改善に必要な資源(人・物・金を含む)の調達案を代表者に提案する。
3. 代表者からの環境経営方針、環境経営システムの変更、改善の指示事項を具体化する。
4. 環境への負荷の自己チェックを行う。
5. 環境への取組の自己チェックを行う。
6. 新製品導入時の環境負荷の自己チェックを行う。
7. 新設備導入時の環境負荷の自己チェックを行う。
8. 環境負荷の特定と環境活動の評価を行う。
9. 著しい環境負荷の決定を行う。
10. 長期3年目標及び短期目標の計画及び計画書の作成を行う。
11. 環境経営計画書の計画及び計画書の作成を行う。
12. 必要に応じて是正及び予防処置を計画し指示を行う。
13. 毎年(10月)に取り組みの確認と評価を行う。
14. 環境関連法規制等が遵守されているか確認を行う。
15. 3ヶ月ごとに環境経営計画の運営状況を[環境経営目標の達成状況及び環境経営計画の実施状況、その評価結果](別紙031-3)を作成し、実施部門に報告する。(毎年 1月、4月、7月、10月)
16. 環境経営計画の運営状況を代表者へ報告する。
17. 環境関連法規及び環境関連要求事項について関係官庁との情報収集を行う。
18. 社内、社外からの情報、クレーム等を受け付ける。
19. 必要に応じて社員に対し[エコアクション21]の運営及び体制についての教育を計画し、教育訓練を実施する。
20. 環境関連文書及び記録の作成・整理に基づき、必要な文書類と保管を行う。
21. 社内で行われる環境関連の勉強会、環境報告会の記録の保管を行う。
22. 社外で行われるセミナーの参加、及びその記録の保管を行う。
23. 協力会社及び納入業者の管理業務を行う。

③データ記録者

1. 取り組みの毎月のデータを記録し、翌月5日までに環境管理責任者へ提出する。
2. 環境経営目標に基づき、環境経営計画を実行する。
3. 環境法規を遵守する。
4. 環境経営マニュアル及び各手順書を遵守する。

④実施部門者

1. 環境経営目標に基づき、環境経営計画を実行する。
2. 環境法規を遵守する。
3. 環境経営マニュアル及び各手順書を遵守する。

環境経営目標の実績

取組項目、目標、実績（2024年度）

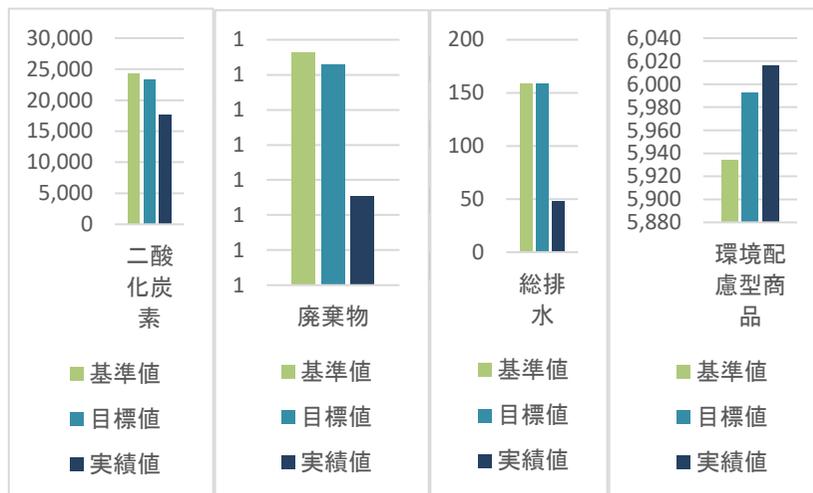
取組項目	単位	基準値	目標値	実績値
1. 二酸化炭素排出量	kg-co2	24,219.7	23,415.0	17,619.2
①購入電力	kw/h	11,863	11,744	9,659
②LPG	kg	19	19	8.2
③ガソリン	L	6,269	6,019	4,255
④軽油	L	1,636	1,571	1,290
2. 廃棄物	t	0.713	0.706	0.631
3. 総排水	m3	158	158	48
4. 環境配慮型商品の販売	千円	5,934	5,993	6,016

○2024年度より基準値及び目標を再設定した

○データの根拠は記録⑥2024年度計画の年間報告を採用した

○電気事業者別排出係数(平成30年度実績)

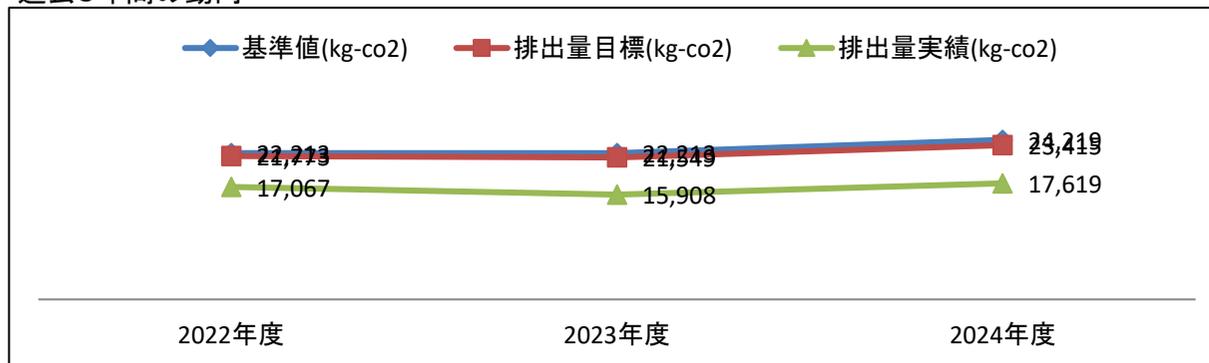
(東京電力エナジーパートナー(株)調整後排出係数 0.455kg-co2/kwh)



環境経営計画の取組結果とその評価

1. 二酸化炭素排出量 合計

過去3年間の動向



	2022年度	2023年度	2024年度	
基準値	22,213	22,213	24,219	kg-co2
排出量目標	21,773	21,549	23,415	kg-co2
〃 実績	17,067	15,908	17,619	kg-co2
目標比率	2	3	3	% 減
実績対比率	23	28	27	% 減
目標達成率	128	135	133	% 達成

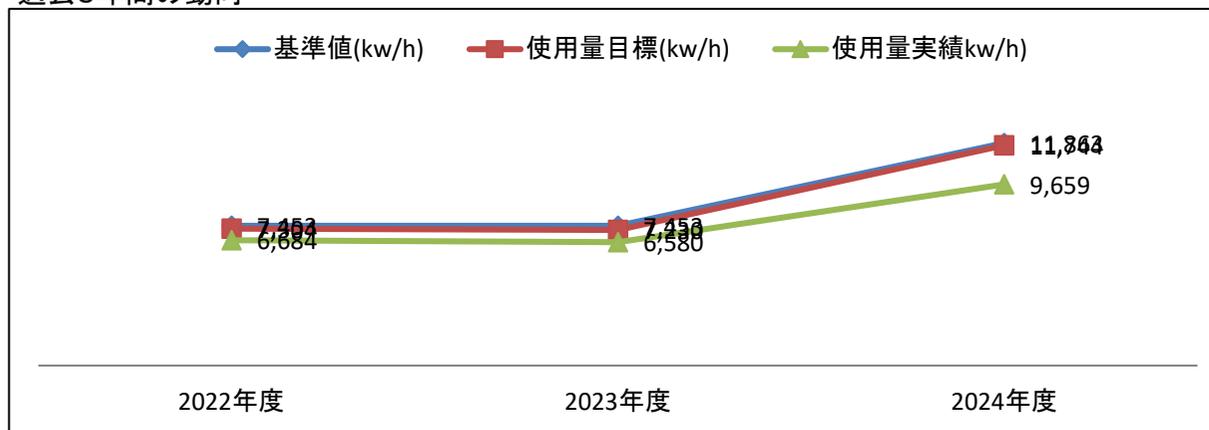
※2024年度にて基準値の見直しを実施

取組みの評価・結果の評価

毎年、着実に削減されています。

1-①購入電力

過去3年間の動向



	2022年度	2023年度	2024年度	
基準値	7,453	7,453	11,863	kw/h
使用量目標	7,304	7,230	11,744	kw/h
// 実績	6,684	6,580	9,659	kw/h
目標比率	2	3	1	% 減
実績対比率	10	12	19	% 減
目標達成率	109	110	122	% 達成

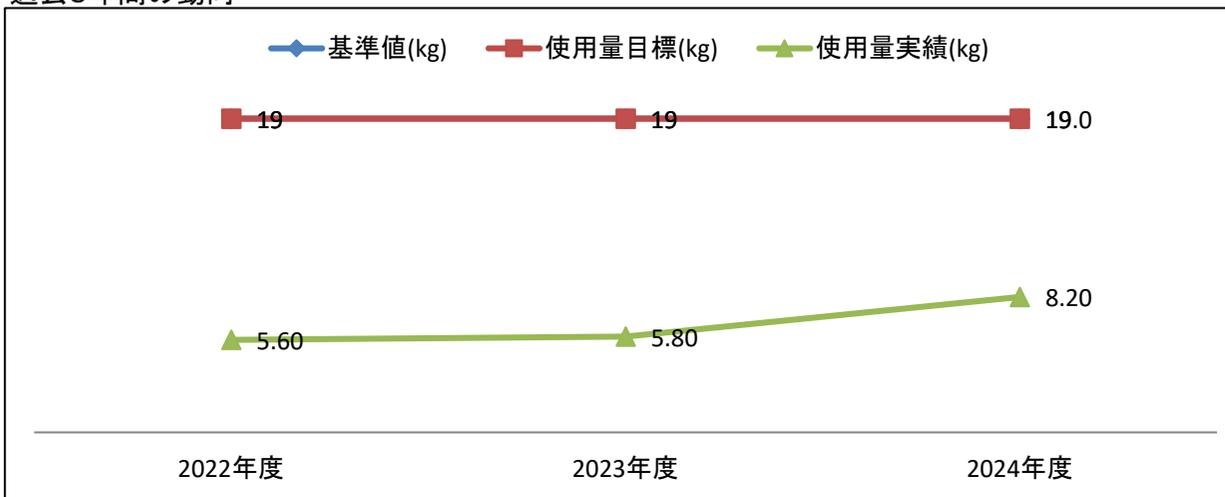
※2024年度にて基準値の見直しを実施

取組みの評価・結果の評価

ドアや窓を必ず閉めるという取り組みは、コロナ対策も踏まえて実施していこうと思います。

1-②LPG

過去3年間の動向



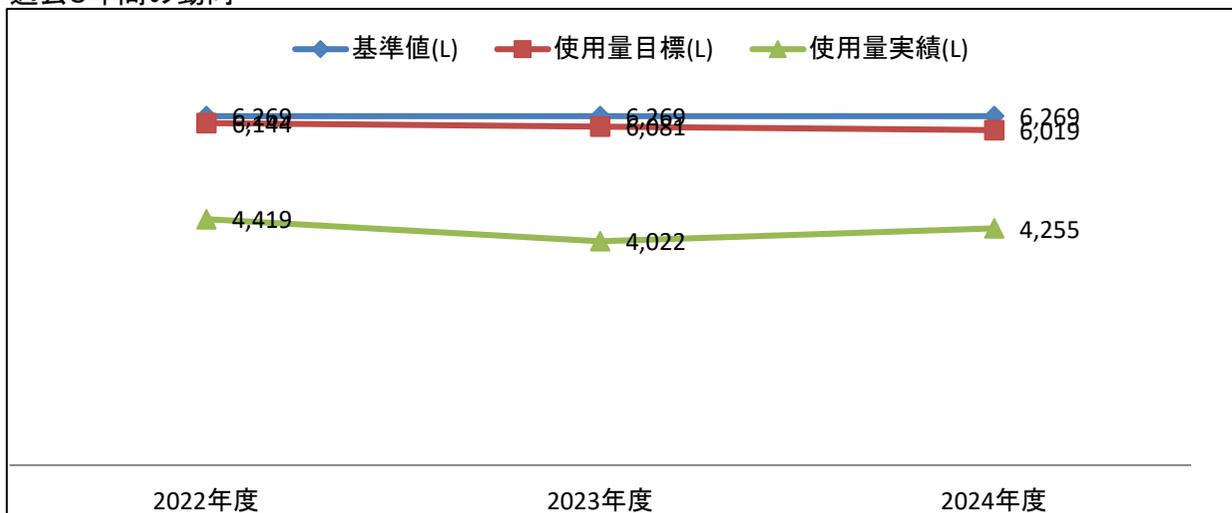
	2022年度	2023年度	2024年度	
基準値	19	19	19	kg
使用量目標	19	19	19	kg
// 実績	5.6	5.8	8.2	kg
目標比率	基準値維持	基準値維持	基準値維持	
実績対比率	71	69	57	% 減
目標達成率	339	328	232	% 達成

取組みの評価・結果の評価

環境活動計画の具体的な取組みはできています。排出量が若干増加傾向にあるので注視したいです



1-③ガソリン車
 過去3年間の動向



	2022年度	2023年度	2024年度	
基準値	6,269	6,269	6,269	L
使用量目標	6,144	6,081	6,019	L
// 実績	4,419	4,022	4,255	L
目標比率	2	3	4	% 減
実績対比率	30	36	32	% 減
目標達成率	139	151	141	% 達成

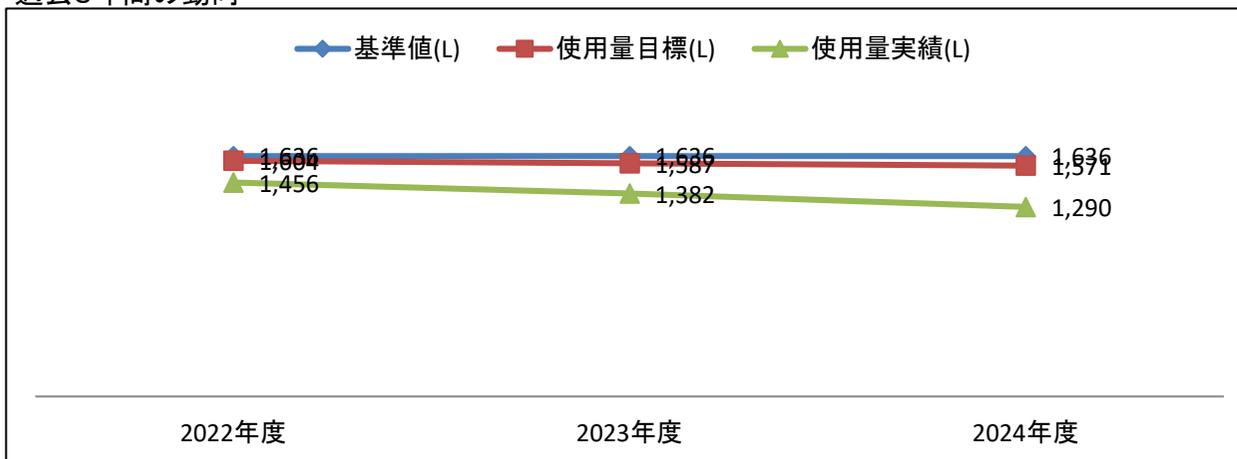
※2021年度にて基準値の見直しを実施

取組みの評価・結果の評価

環境活動計画の具体的な取組みは、基本的にはできています。社用車1台分の使用量が減少したため、大きく削減できました。



1-④軽油車
 過去3年間の動向



	2022年度	2023年度	2024年度	
基準値	1,636	1,636	1,636	L
使用量目標	1,604	1,587	1,571	L
// 実績	1,456	1,382	1,290	L
目標比率	2	3	4	% 減
実績対比率	11	16	21	% 減
目標達成率	110	115	122	% 達成

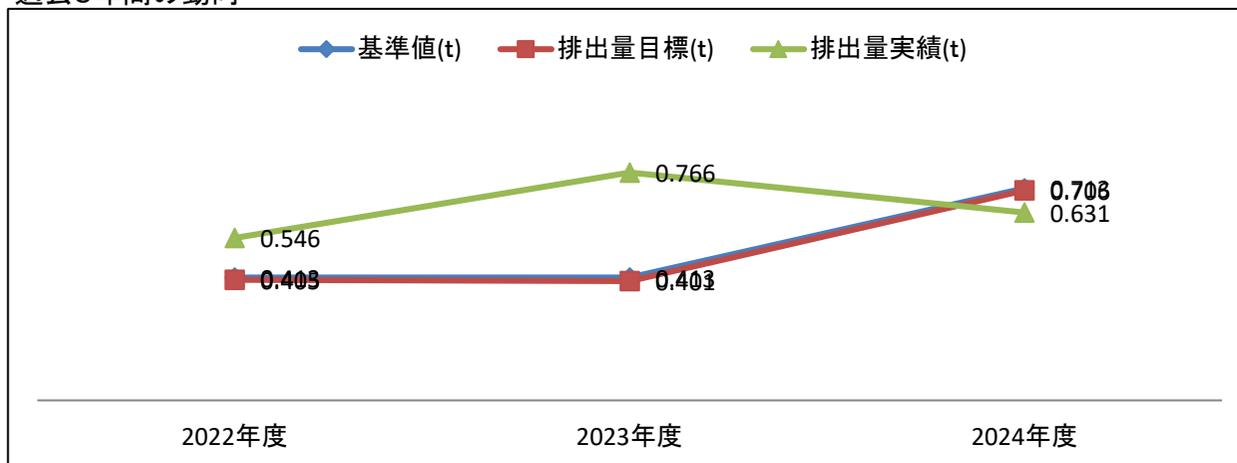
※2021年度にて基準値の見直しを実施

取組みの評価・結果の評価

環境活動計画の具体的な取組みはできています。メーカー直送の頻度も増え、配達自体が減少しているようです。

2. 廃棄物 排出量

過去3年間の動向



	2022年度	2023年度	2024年度	
基準値	0.413	0.413	0.713	t
排出量目標	0.405	0.401	0.706	t
// 実績	0.546	0.766	0.631	t
目標比率	2	3	1	% 減
実績対比率	32	85	12	% 減
目標達成率	74	52	112	%

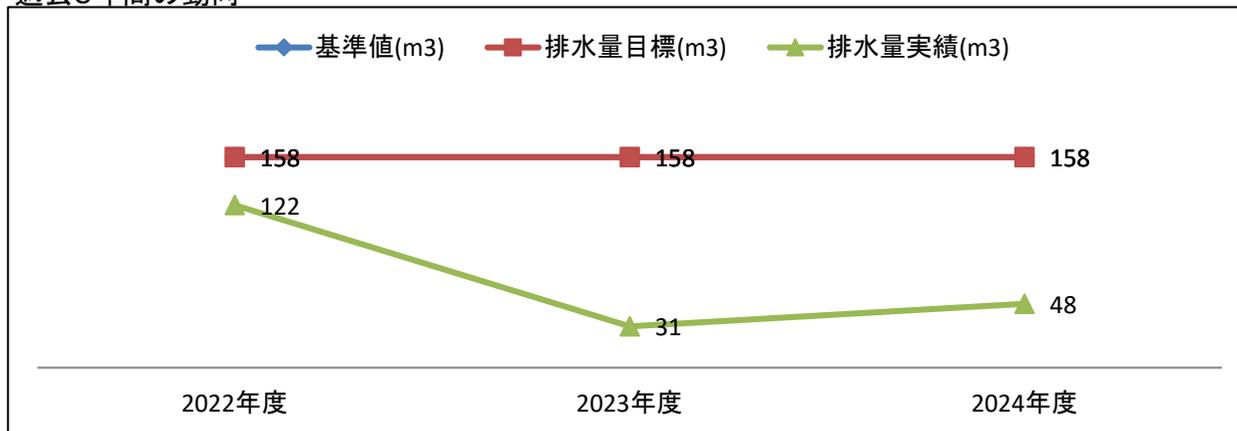
※2024年度にて基準値の見直しを実施

取組みの評価・結果の評価

環境活動計画の具体的な取組みは、基本的にはできています。定期的な古書類等の廃棄もありますが、量的には落ち着いてきているようです。

3. 総排水量

過去3年間の動向



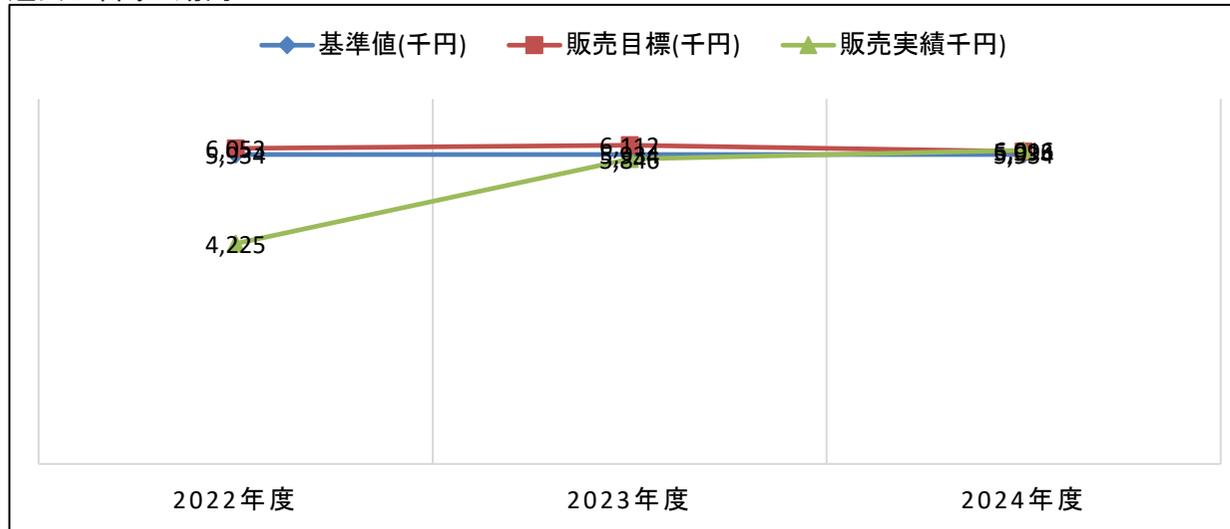
	2022年度	2023年度	2024年度	
基準値	158	158	158	m3
排水量目標	158	158	158	m3
// 実績	122	31	48	m3
目標比率	基準値維持	基準値維持	基準値維持	
実績対比率	137	65	70	% 減
目標達成率	130	510	329	% 達成

取組みの評価・結果の評価

環境活動計画の具体的な取組みはできています。使用量も例年並みに戻りました。



4. 環境配慮型商品の販売
 過去3年間の動向



	2022年度	2023年度	2024年度	
基準値	5,934	5,934	5,934	千円
販売目標	6,053	6,112	5,993	千円
// 実績	4,225	5,846	6,016	千円
目標比率	2	3	1	% 増
実績対比率	-29	-1	1	% 増
目標達成率	70	96	100	%

※2021年度にて基準値の見直しを実施

取組みの評価・結果の評価

環境活動計画の具体的な取組みは、基本的にはできています。まだまだ不況の影響が響いていますが、売上自体は戻りました。今後も目標達成をめざします。

次年度の短期目標

3年分短期目標

基準値	2024年度 短期目標(18年目) 2023年10月～2024年9月	2025年度 短期目標(19年目) 2024年10月～2025年9月	2026年度 短期目標(20年目) 2025年10月～2026年9月
1. 二酸化炭素排出量削減計画			
①電気使用量削減 5,397.7 kg-co2 11,863 kw/h	基準値比 1 %削減 5,343.6 kg-co2 11,744 kw/h	基準値比 2 %削減 5,289.4 kg-co2 11,625 kw/h	基準値比 3 %削減 5,235.7 kg-co2 11,507 kw/h
②LPG使用の自主管理 57.0 kg-co2 19 kg	基準値以下を維持する	基準値以下を維持する	基準値以下を維持する
③ガソリンの使用量削減 14,544.1 kg-co2 6,269 L	基準値比 4 %削減 13,962.3 kg-co2 6,019 L	基準値比 5 %削減 13,816.9 kg-co2 5,956 L	基準値比 6 %削減 13,671.5 kg-co2 5,893 L
④軽油の使用量削減 4,220.9 kg-co2 1,636 L	基準値比 4 %削減 4,052.1 kg-co2 1,571 L	基準値比 5 %削減 4,009.9 kg-co2 1,554 L	基準値比 6 %削減 3,967.6 kg-co2 1,538 L
合計 24,219.7 kg-co2	約 3 %削減 23,415.0 kg-co2	約 4 %削減 23,173.2 kg-co2	約 5 %削減 22,931.8 kg-co2
2. 廃棄物量排出削減計画 0.713 t	基準値比 1 %削減 0.706 t	基準値比 2 %削減 0.699 t	基準値比 3 %削減 0.692 t
3. 総排水(上水道)の自主管理 158 m3	基準値以下を維持する	基準値以下を維持する	基準値以下を維持する
4. 環境配慮型商品の販売 5,934 千円	基準値比 1 %増加 5,993 千円	基準値比 2 %増加 6,052 千円	基準値比 3 %増加 6,112 千円

○二酸化炭素排出量の基準値及び目標を見直し、再設定しました

○廃棄物排出量の基準値及び目標を見直し、再設定しました

○総排水(上水道)量の基準値を見直し、再設定しました

○環境配慮型商品販売の目標を再設定しました

○化学物質は使用しておりませんので目標には含みません

次年度の取組内容(実施項目及び具体的な取り組み)

2024年10月 1日～2025年 9月30日までの1年間
 取組内容の「実施項目」、「具体的な取り組み」は、2023年度と同じです。
 基準値、目標値は前ページ(P13)を参照願います。

実施部門	実施項目	具体的な取り組み
二酸化炭素排出量削減計画	昨年度と同じ	昨年度と同じ
廃棄物量削減計画		
総排水削減計画		
環境配慮型商品の販売計画		

環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

創業(昭和46年1月1日)より現在(2024年(令和6年)9月30日)において、環境関連法規等の遵守状況を確認した結果、環境関連法規および条例等の違反はありません。また、同期間、関係機関及び地域住民、周辺自治会等からの指摘、また控訴等もありません。

環境関連法規等の取りまとめ 及び 遵守状況の確認結果		文書 の 取 り ま と め	責任者	記録 の 確 認 日	責任者
法規名称	概 要		責任者 '19/07/01 村上		責任者 24/10/31 村上
法規名称	概 要			遵守状況	確認日
省エネ法	エネルギーの使用の合理化に努めなければならない(努力義務)			違反なし	24/10/31
廃棄物処理法	事業活動に伴って生じた廃棄物を自らの責任において適正に処分する。			違反なし	24/10/31
	廃棄物の再生利用等により減量化に努めるとともに、国及び地方公共団体の施策に協力する。			違反なし	24/10/31
	産業廃棄物処理契約の締結、マニフェストの発行・保管(5年間)、マニフェスト交付状況報告等を行う。			違反なし	24/10/31
	廃棄物保管場所に掲示板を表示し、保管の基準を順守する。			違反なし	24/10/31
フロン排出抑制法	第1種特定製品の使用者は4半期毎に簡易点検を実施し、記録を作成、保管する			違反なし	24/10/31
資源有効利用促進法 (リサイクル法)	原材料等の使用の合理化を行うとともに再生資源及び再生部品の利用に努める。製品を長期間使用、			違反なし	24/10/31
	使用済み物品等を再生資源もしくは再生部品として利用、副産物を再生資源として利用するよう努める			違反なし	24/10/31
容器包装リサイクル法	繰り返し使用することが可能な容器包装を使用し、廃棄物の排出を抑制する。			違反なし	24/10/31
	また、廃棄物の再商品化を推進するよう努める。			違反なし	24/10/31
家電リサイクル法	テレビ、冷蔵庫、エアコン等を、なるべく長期間使用し廃棄物にならないよう抑制する。			違反なし	24/10/31
	排出するときは適切に引渡し、料金を支払う。			違反なし	24/10/31
小型家電リサイクル法	家庭で使用している殆どの家電が対象で96品目(携帯電話・電話機・ラジオ・デジタルカメラ・掃除機等)			違反なし	24/10/31
	自治体の回収(基本)方法に従う。			違反なし	24/10/31
自動車リサイクル法	使用済みとなった自動車を引き取り業者へ引き渡し、リサイクル費用を支払う。			違反なし	24/10/31
自動車NOx・PM法	事業活動に伴う自動車排出NOx及びPMの排出の抑制のために必要な措置を講ずるよう努める。			違反なし	24/10/31
	また大気汚染の防止に関する施策に協力する。			違反なし	24/10/31
グリーン購入法	物品購入等に際し、できる限り環境物品等を選択するよう努める			違反なし	24/10/31
顧客からの要望事項	安全データシート(SDS)・RoHS(ローズ)・REACH(リーチ)・PFOS(ピーフォス)等の対応			都度実施	24/10/31



代表者による全体評価と見直しの結果

代表者による全体の取り組み状況の評価 及び見直しの結果

環境経営方針の見直し

2024年度活動に関して、「問題の是正処置及び予防処置の結果」に記載されている各部門の「不適合発生状況」に書かれている問題は原因を追究し、問題解決する様努力願います。

環境経営目標についての評価・必要な指示

【二酸化炭素排出量削減全体】

目標に対して、27%削減(達成率133%)は削減ができ評価します。引き続き削減をお願いします。

【内 訳】

〔電気使用量削減〕

目標に対して、19%削減(達成率122%)は高く評価します。製造部の使用量に関しては若干未知数なところもありましたが、確実に減少しています。また、今後設置予定の太陽光パネルの運用も大いに期待できると思います。

〔LPG使用量削減〕

基準値を維持することに対し、57%(達成率232%)削減は高く評価します。

〔ガソリン・軽油の燃料削減〕

ガソリンの目標に対して、32%削減(達成率141%)は高く評価します。社用車1台分の燃料を使用していないことによる大幅な減少と思われます。より一層の営業活動強化のための使用増加には注意してください。使用年数もかなり経ちますので、より一層燃費向上に心がけてください。軽油の目標に対して、21%削減(達成率122%)は高く評価します。メーカー直送での納品が増え利用頻度も減ってきているものの、無駄のないルートでの運用を心がけてください。

【廃棄物排出量削減】

目標に対して、12%増加(達成率112%)は削減ができ評価します。古書類の廃棄などで一時的に増加することもあります。日々の削減をいっそう心がけてください。

【総排水量削減】

基準値を維持することに対し、46%削減(達成率185%)は高く評価します。今後もいっそうに削減を心がけてください。

【環境配慮型商品の販売量増加】

目標に対して、達成できました(達成率100%)。定期物件の販売量も改善されて来ています。弊社の置かれている市場、立場及び強みである『環境配慮型商品』の販売を拡大することは、今後の弊社の方向性をも決定づけるほどの大きな意味があります。特に力を入れてください。



環境経営計画についての評価・必要な指示

【二酸化炭素排出量削減全体】

みなさんの削減に対する姿勢・努力が報われていると思います。引き続き宜しくお願いします。

〔電気使用量削減〕

下記の「不適合発生状況」の見直しを行い確実に実行できる指導をお願いします。

⑥「エアコンのフィルター清掃を定期的に行う」を実行させる

〔LPG使用量削減〕

適切に使用されていると思います。引き続きお願いします。

〔ガソリンの燃料削減〕

適切に使用されていると思います。引き続きお願いします。

〔軽油の燃料削減〕

適切に使用されていると思います。引き続き節約願います。

【廃棄物排出量削減】

下記の「不適合発生状況」の見直しを行い確実に実行できる指導をお願いします。

②「各自、廃棄物を処理するときは専用容器に分別して入れる」を実行させる
特に混合物や汚れのひどいものなど、判断の厳しいものを見極めの指導をお願いします。

【総排水量削減】

適切に使用されていると思います。引き続きお願いします。

【環境配慮型商品の販売量増加】

運営自体は問題ありません。引き続きお願いします。

【環境への負荷の自己チェック】

問題ありません。

【環境への取組の自己チェック】

問題ありません。

【実施および運用】

一部の人を除き、以前と比べて実施・運用が上手く出来ていると思いますが、逆に慣れによる活動がいい加減にならない様に、引き続きモチベーションが下がらない取組みをお願いします。

環境経営システムについての評価・必要な指示

2017年版にガイドラインに沿った要求事項をよく理解し取り組みが行われていると思います。

環境経営マニュアル・手順書についての評価・必要な指示

2017年版にガイドラインに沿った要求事項をよく理解し、適切に変更されていると思います。

法規制についての評価・必要な指示

問題なし。指示はありません。

利害関係者についての評価・必要な指示

問題なし。指示はありません。

実施体制について

今後も現状の体制を維持していきましょう。





Kyodo Packing materials
共同包材株式会社

目(写真)で見る環境活動

環境認証



環境省
エコアクション21
認証番号 0001350

共同包材株式会社
環境管理責任者



皆様にお願ひ致します

- ① アイドリングストップ
- ② ごみの持ち帰り
- ③ 禁煙
- ④ 荷卸する前に事務所へ

ご協力をお願いします

弊社は環境活動認証登録事業所です



環境省策定
環境活動評価プログラム
エコアクション21
認証登録事業所

共同包材株式会社
環境管理責任者 加藤 和行
KYODO 平成19年 2月26日



エコドライブ実施中



環境省
エコアクション21
認証番号 0001350

環境省策定
環境活動評価プログラム
エコアクション21認証・登録

<http://www.kyodo-pm.co.jp/>



お願い

COOL 目次 COOL 目次 COOL 目次

ガラス戸を キッチンと 昼後まで **閉めてください**

地球温暖化防止のため 28℃で空調しています 少し暑いかもしれませんが、ご協力願います。

「未来を渡った世代」になろう。

エコアクション21
認証番号 0001350

弊社は環境活動認証登録事業所です



Enviromental Activity Report 2024 Kyodo Packing materials

共同包材株式会社

本 社 〒252-0002 神奈川県座間市小松原2丁目17-8
 電話番号 046(253)0601 FAX 046(255)2221
 ホームページアドレス <http://www.kyodo-packing.com/>
 E-mail front@kyodo-packing.com

